

24歳。書店員だったボクは、
ある日突然坊さんになった。

伊藤淳史

山本美月 溝端淳平

渡辺大知 遠藤雄弥 駒木根隆介 斎藤歩 有菌芳記 松金よね子

濱田岳 / 松田美由紀

イッセー尾形

ボクは坊さん。



監督：真壁幸紀 脚本：平田研也 原作：白川密成『ボクは坊さん。』（ミシマ社）音楽：平井真美子 主題歌：「Today, Tonight」吉田山田（ポニーキャニオン）

製作統括：加太孝明 志賀司 製作：栗原力 志賀玲子 三宅啓介 石川和雄 林誠 佐々木伸一 小西啓介 沖中進 宮本直人 土居英雄 村上忠 吉永英人 近藤聖司 大飯崇 エグゼクティブプロデューサー：安藤鏡広 佐々木洋 プロデューサー：梶原憲治 企画協力：塚本連平
アシエイトプロデューサー：関根健輔 ラインプロデューサー：瀬崎秀人 撮影：柴崎幸三 照明：上田なりゆき サウンドデザイン：石坂純行 録音：赤澤靖大 美術：龍田哲見
統括：中澤正英 編集：森下博昭 スタylist：小塚あまみ ヘアメイク：市川温子 特殊メイクスーパードバイザー：江川悦子 キャスティング：稲葉穂子 助監督：黒田徹介 制作担当：坪内一
企画・制作プロダクション：ROBOT 製作：ROBOT セレモニー ポニーキャニオン 東急エージェンシー シネマサンシャイン ファントム・フィルム 朝日放送 GYAO 愛媛新聞社 ラジカ・ニンジニア 香永企業グループ 今治タール エイトワン
協力：朝日新聞社 特別協力：一般社団法人全日本児童読書普及協会 助成：文化庁文化芸術振興費補助金 ©2015 映画『ボクは坊さん。』製作委員会 (2015年/日本/カラー/ビスタ/99分)

bosan.jp

『ALWAYS 三丁目の夕日』スタッフが贈る最新作！

実話をもとに描いた、生きるヒントが沢山つまった“お坊さん”エンターテインメント

24歳、突然住職になったボクの奮闘記。 住職自らの体験をもとに綴ったエッセイの映画化!

高野山開創
1200年を記念し
製作



泣いて、笑って、癒されるー 生きるヒントがぎゅっと詰まった“お坊さん”ワールドへようこそ!

白方光円、24歳。突然の祖父の死をきっかけに、四国八十八ヶ所霊場、第57番札所・栄福寺の住職になったばかり。この寺で生まれ育ったけれど、住職として足を踏み入れた“坊さんワールド”は想像以上に奥深いものだった! 初めて見る坊さん専用グッズや、個性豊かな僧侶との出会いにワクワクしたり、檀家の人たちとの関係に悩んだり。お葬式や結婚式で人々の人生の節目を見守るのももちろん、地域の“顔”としての役割もお坊さんには必要。職業柄、人の生死に立ち合うことで“生きるとは何か? 死ぬとは何か?”と考えたりもする。坊さんとしての道を歩み始めたばかりの光円に何ができるのか。光円は試行錯誤を繰り返しながら、人としても成長していく……。

に演じるのは、伊藤淳史。温かく人情味にあふれ、“こんなお坊さんに近くにいてほしい”と誰もが思うような、魅力的な光円像を体現している。光円を取り巻く人々を演じるのは、山本美月、溝端淳平、濱田岳、松田美由紀、そしてイツセー尾形など、個性的なキャストたちが感動のドラマを盛り立てる。

「ほぼ日刊イトイ新聞」で約7年間にわたり連載されていた人気エッセイが書籍化を経て、満を持して映画化! 栄福寺の住職・白川密成氏が実体験を生き生きとつづった原作「ボクは坊さん。」を『ALWAYS 三丁目の夕日'64』で監督助手を務めるなど、第一線の現場でキャリアを積んだ新鋭・真壁幸紀が手掛ける。スクリーンに映し出される四国や高野山の美しい風景も、本作の見どころの一つとなっている。

24歳で突然住職を務める事になった白方光円を説得力たっぷり



伊藤淳史

山本美月 溝端淳平

渡辺大知 遠藤雄弥 駒木根隆介 斎藤歩 有園芳記 松金よね子

濱田岳 / 松田美由紀

イツセー尾形

【ボクは坊さん。原作】



監督：真壁幸紀 脚本：平田研也 原作：白川密成「ボクは坊さん。」(ミシマ社) 音楽：平井真美子 主題歌：「Today, Tonight」吉田山田(ポニーキャニオン)

製作総務：加太孝晴 志賀純子 三宅守介 石川和雄 林誠 佐々木伸一 小西啓介 沖中進 宮本直人 土居英雄 村上忠 吾永英人 近藤聖司 大藤潔

エグゼクティブプロデューサー：安藤龍広 佐々木淳 プロデューサー：尾原富治 企画協力：塚本達平 アソシエイトプロデューサー：関根健晴

ラインプロデューサー：瀬崎秀人 撮影：柴崎幸三 照明：上田なりゆき サウンドデザイナー：石崎雄行 録音：赤澤清次 美術：龍田啓規

装飾：中澤正英 編集：森下博昭 スタylist：小堀あさみヘアメイク：市川温子 特殊メイクスーパーバイザー：江川悦子 キャスティング：絆美穂子 助監督：黒田健介 制作担当：坪内一

企画・制作プロダクション：ROBOT 製作：ROBOT セレモニーポニーキャニオン 兼業エージェンシー シネマサンシャイン フォントムフィルム 朝日放送 GYAO 実業新聞社 ラッシュ・ニンジャ 吉永企業グループ 今治タカシ エイトワン 配給：フォントムフィルム

定価：1600円＋税(ミシマ社)

協力：朝日新聞社 特別協力：一般社団法人日本犯罪被害者相互協会の協賛 文化庁文化芸術振興費補助金 ©2015映画「ボクは坊さん」製作委員会 (2015年/日本/カラー/ビスタ/99分) bosan.jp

公開を記念して
ほぼ日刊イトイ新聞で
原作者白川氏の連載が復活!
詳しくは、ほぼ日公式サイト
1101.comまで

10月24日(土)公開!